

平成22年度東京都工業用水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象 水道局

2 審査の方法

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、工業用水道事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、企業管理者から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

また、本事業の経営状況を把握するため計数の分析を行うとともに、経済性の発揮及び公共性の確保の観点から事業運営が適切に行われているかを検証した。

3 審査の期間 平成23年6月1日から同年8月4日まで

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、工業用水道事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められる。

2 事業運営について

工業用水道事業は、地盤沈下対策として地下水揚水規制の代替水を供給するために昭和39年度から事業を開始し、荒川沿いの墨田区等9区において、簡易な浄水処理を施した水を提供している。事業の結果、昭和50年代以降、地盤沈下は沈静化し、事業の所期の目的は達成している。

一方、工業用水の需要は、工場移転等により、昭和49年度を境に減少傾向が続いており、雑用水等としての提供も行っているものの、平成22年度の給水件数は588件、年間総配水量は1,218万 m^3 となっている。年間総配水量は、ピーク時（昭和49年度：9,308万 m^3 ）の13.1%以下のレベルまで減少している。

収支状況は、総収益、総費用ともに12億8,726万余円と同額になっている。

財政状況は、資産350億2,251万余円、負債2億3,501万余円及び資本347億8,749万余円となっている。

経営状況は、工業用水需要の減少傾向が依然として続いているため、給水収益をはじめとする営業収益は減少している。

局は、需要減が今後も続くと予想されることから、より一層、効率的な事業運営に努める必要がある。

第3 経営状況の概要

1 経営成績について

平成22年度における工業用水道事業の経営成績は、表1（詳細は、別表1比較損益計算書）のとおり、総収益、総費用ともに12億8,726万余円となっている。

（表1）経営成績比較表

（単位：千円、％）

項目		平成22年度	平成21年度	増（△）減	
				金額	率
収益	営業収益	858,834	905,474	△ 46,639	△ 5.2
	営業外収益	428,430	477,271	△ 48,840	△ 10.2
総収益		1,287,265	1,382,746	△ 95,480	△ 6.9
費用	営業費用	1,280,565	1,374,269	△ 93,704	△ 6.8
	営業外費用	6,700	8,476	△ 1,776	△ 21.0
総費用		1,287,265	1,382,746	△ 95,480	△ 6.9
純利益		0	0	0	—

（1）事業実績について

平成22年度における給水収益は、表2のとおりである。

給水収益は、料金収入からなっており、料金は、①「基本水量」（利用者との契約上決定する1日当たり使用水量の上限）に応じた料金、②基本水量を超過した水量に応じた料金、③給水管の口径の大きさに応じた水量メータ料金から構成されている。（注）

給水件数は、588件であり、前年度（591件）と比較して3件減少している。水量について見ると、基本水量の年間量と超過分の使用水量の合計は1,548万余 m^3 であり、前年度（1,637万余 m^3 ）と比較して、89万余 m^3 （5.4％）減少している。これに伴い、給水収益は、8億888万余円となっており、前年度（8億4,160万余円）と比較して3,271万余円（3.9％）減少している。

年間総配水量は、表3のとおり、1,218万余 m^3 であり、前年度（1,183万余 m^3 ）と比較して34万余 m^3 増加している。

（注） ただし、表2中「集合住宅」については、上水道の使用料が1ヶ月11 m^3 以上の場合に、4 m^3 ×料金（円/ m^3 ）×月数で計算し、徴収する。

(表2) 給水収益の状況 (件数・水量・金額)

年 度		平成 22 年度		平成 21 年度		増 (△) 減		
		(A)	構成比 (%)	(B)	構成比 (%)	(C)=(A) - (B)	率 (C)/(B) ×100	
件 数 (件)	工業用水	222	37.8	226	38.2	△ 4	△ 1.8	
	雑用水等	366	62.2	365	61.8	1	0.3	
	雑用水	314	53.4	313	53.0	1	0.3	
	集合住宅	52 (37,264 戸)	8.8	52 (37,417 戸)	8.8	0 (△153 戸)	0	
	計	588	100	591	100	△ 3	△ 0.5	
水 量 (m ³)	(ア) 基本水量の年間量	工業用水	8,971,162	59.5	9,851,261	61.4	△ 880,099	△ 8.9
		雑用水等	6,102,285	40.5	6,188,198	38.6	△ 85,913	△ 1.4
		雑用水	5,112,565	33.9	5,182,178	32.3	△ 69,613	△ 1.3
		集合住宅	989,720	6.6	1,006,020	6.3	△ 16,300	△ 1.6
		計	15,073,447	100	16,039,459	100	△ 966,012	△ 6.0
	(イ) 超過分の使用水量	工業用水	179,588	43.8	169,530	50.4	10,058	5.9
		雑用水等	230,466	56.2	166,739	49.6	63,727	38.2
		雑用水	230,466	56.2	166,739	49.6	63,727	38.2
		集合住宅	-	-	-	-	-	-
	計	410,054	100	336,269	100	73,785	21.9	
(ア) と (イ) の合計水量		15,483,501	-	16,375,728	-	△ 892,227	△ 5.4	
金 額 (千円)	工業用水	455,865	56.4	494,412	58.7	△ 38,547	△ 7.8	
	雑用水等	353,021	43.6	347,193	41.3	5,828	1.7	
	雑用水	324,319	40.1	318,019	37.8	6,300	2.0	
	集合住宅	28,702	3.5	29,174	3.5	△ 472	△ 1.6	
	計	808,886	100	841,605	100	△ 32,719	△ 3.9	

(表3) 配水状況

施設名	区分	給水施設能力 (A)	平成 22 年度		平成 21 年度		増 (△) 減	
			配水量 (B)	稼働率 (C=B/A×100)	配水量 (B')	稼働率 (C' = B' / A ×100)	配水量 (B-B')	稼働率 (C-C')
三園浄水場	日量	m ³ 175,000	m ³ 33,372	% 19.1	m ³ 32,425	% 18.5	m ³ 947	% 0.6
	年間	—	12,180,600	—	11,835,000	—	345,600	—

(注) 三園浄水場の配水量は、玉川浄水場からの送水量 (平成 22 年度 172 万 7,900 m³、平成 21 年度 175 万 300 m³) を含む。

(2) 収支状況について

工業用水道事業の平成22年度における損益は、表4及び別表1比較損益計算書のとおりである。

営業損失は、前年度(4億6,879万余円)と比較して、4,706万余円(10.0%)減少し、4億2,173万余円となっている。この営業損失4億2,173万余円及び営業外費用670万余円を、営業外収益4億2,843万余円により補い、経常収支は均衡している。

ア 収益について

営業収益の大部分を占める給水収益は、昭和49年度以来、毎年減少を続けているが、平成22年度(8億888万余円)も前年度(8億4,160万余円)と比較して3,271万余円減少している。

平成22年度の営業収益は、8億5,883万余円であり、前年度(9億547万余円)と比較して4,663万余円(5.2%)減少している。これは主に、給水収益が減少していることによるものである。

営業外収益の主なものは、三園浄水場において水道事業が使用している工業用水道事業会計所管の土地・設備の使用料をはじめとする、土地物件収益(2億1,521万余円)と、一般会計補助金(2億1,082万余円)である。

平成22年度の営業外収益は、4億2,843万余円であり、前年度(4億7,727万余円)と比較して4,884万余円(10.2%)減少しているが、これは主に、使用許可している土地の使用料算定に用いる地価公示価格等が下落したことに伴い、使用料収入が減少したことにより、土地物件収益が3,894万余円減少したことによるものである。

イ 費用について

営業費用のうち実支出を伴う費用の中で最も大きな割合を占めるものは、浄水及び配水費(4億3,675万余円)であり、そのうち主な費用は、配水設備補修費(1億6,449万余円)及び三園浄水場管理費分担金(1億9,023万余円)である。

平成22年度の営業費用は、12億8,056万余円となっており、前年度(13億7,426万余円)と比較して9,370万余円(6.8%)減少している。これは主に、総係費が、恩給退職負担金の減少などにより6,598万余円、浄水及び配水費が、配水管等改造工事費の減少などにより1,539万余円それぞれ減少していることによるものである。

事業の収益性を示す経営比率は、表5のとおりである。

なお、給与費、職員数等については、表6のとおりである。

(表4) 損益収支比較表

(単位：千円、%)

項 目	平成22年度	平成21年度	増(△)減	
			金 額	率
営業収益	858,834	905,474	△ 46,639	△ 5.2
給水収益	808,886	841,605	△ 32,718	△ 3.9
受託事業収益	2,469	4,098	△ 1,628	△ 39.7
その他営業収益	47,478	59,770	△ 12,292	△ 20.6
営業費用	1,280,565	1,374,269	△ 93,704	△ 6.8
浄水及び配水費	436,752	452,145	△ 15,393	△ 3.4
受託事業費	2,469	4,098	△ 1,628	△ 39.7
業務費	59,495	59,381	114	0.2
総係費	67,990	133,972	△ 65,982	△ 49.3
減価償却費	630,917	640,727	△ 9,810	△ 1.5
資産減耗費	82,940	83,944	△ 1,003	△ 1.2
営業損失	421,730	468,795	△ 47,064	△ 10.0
営業外収益	428,430	477,271	△ 48,840	△ 10.2
受取利息	1,793	2,922	△ 1,129	△ 38.6
土地物件収益	215,215	254,164	△ 38,949	△ 15.3
一般会計補助金	210,824	218,427	△ 7,602	△ 3.5
雑収	597	1,757	△ 1,159	△ 66.0
営業外費用	6,700	8,476	△ 1,776	△ 21.0
雑支出	6,700	8,476	△ 1,776	△ 21.0
経常利益	0	0	0	—
当年度純利益	0	0	0	—

(表5) 経営比率表

年度 項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	算式
	経営資本 営業利益率(%)	△ 2.0	△ 1.9	△ 1.1	△ 1.3	
営業収益 営業利益率(%)	△ 64.3	△ 66.9	△ 37.5	△ 51.8	△ 49.1	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
経営資本 回転率(回)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
総費用対総収益 比率(%)	100	100	100	100	100	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$

(注) 経営資本 = 総資本 - 建設仮勘定

(表6) 給与費明細表

(単位：千円)

区分	平成22年度			平成21年度			増(△)減		
	損益勘定	資本勘定	計	損益勘定	資本勘定	計	損益勘定	資本勘定	計
給料	30,366	0	30,366	29,923	0	29,923	443	0	443
手当	26,802	0	26,802	27,395	0	27,395	△ 593	0	△ 593
法定福利費	10,874	0	10,874	9,708	0	9,708	1,166	0	1,166
計	68,043	0	68,043	67,027	0	67,027	1,016	0	1,016
職員数	7人	0人	7人	7人	0人	7人	0人	0人	0人
平均年齢	46歳7月			44歳5月			2歳2月		
職員一人当たり給与費	8,166千円			8,188千円			△ 22千円		

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在におけるものである。

2 職員一人当たり給与費は、(給料+手当) ÷ 月当たり平均職員数である。

2 財政状態について

(1) 資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表7のとおりである。

当年度における資本的収入は、1,096万余円であり、前年度(8,195万余円)と比較して7,099万余円(86.6%)減少している。これは主に、一般会計出資金が7,606万余円減少したことによるものである。

資本的支出は、1億828万余円であり、前年度(1億2,057万余円)と比較して1,228万余円(10.2%)減少している。これは主に、建設改良費が1,227万余円減少したことによるものである。

資金収支の状況は、表8のとおりである。資本的収支の差引額は9,731万余円の資金不足となっているが、これを減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てんした結果、5億6,154万余円の資金剰余となっており、年度末における資金残高の推移は、表9のとおりとなっている。

(表7) 資本的収支比較表

(単位：千円、%)

区 分		平成22年度	平成21年度	増(△)減	
				金 額	率
資本的 収入	一般会計出資金	5,778	81,843	△ 76,064	△ 92.9
	固定資産売却収入	0	116	△ 116	△ 100
	その他資本収入	5,188	0	5,188	-
	計	10,966	81,959	△ 70,992	△ 86.6
資本的 支出	建設改良費	108,284	120,558	△ 12,274	△ 10.2
	国庫補助金返還金	0	13	△ 13	△ 100
	計	108,284	120,572	△ 12,287	△ 10.2
資 本 的 収 支		△ 97,318	△ 38,613	△ 58,705	152.0

(表8) 資金収支表

(単位：千円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資 本 的 支 出 (A)	108,284	資 本 的 収 入 (B)	10,966
計	108,284	計	10,966
		資本的収支資金不足額 (C) = (A) - (B)	97,318
		<補てん財源内訳>	
		当年度純利益	0
		損益勘定留保資金	653,706
		(減価償却費)	630,917
		(資産減耗費)	22,789
		消費税資本的収支調整額	5,159
		計 (D)	658,866
収益的収支資金剰余額 (E) = (D)	658,866		
当年度資金剰余額 (F) = (E) - (C)	561,548		
合 計 (A) + (F)	669,832	合 計 (B) + (D)	669,832

(表9) 年度末資金残高表

(単位：千円)

区 分	年 度				
	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
流動資産 (A)	2,378,452	2,997,416	3,600,213	4,156,900	4,684,244
流動負債 (B)	337,181	408,291	326,381	269,217	235,013
年度末資金残高 (A - B)	2,041,271	2,589,125	3,273,832	3,887,682	4,449,230

(2) 資産及び負債・資本について

当年度末の資産及び負債・資本の状況は、別表2比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、350億2,251万余円であり、前年度(350億5,852万余円)と比較して3,601万余円(0.1%)減少している。

固定資産は、303億3,826万余円であり、前年度(309億162万余円)と比較して5億6,335万余円(1.8%)減少している。これは主に、構築物が4億2,654万余円、機械及び装置が1億2,749万余円それぞれ減少したことによるものである。

流動資産は、46億8,424万余円であり、前年度(41億5,690万余円)と比較して5億2,734万余円(12.7%)増加している。これは主に、預金が6億447万余円増加したことによるものである。

負債総額は、2億3,501万余円であり、前年度(2億6,921万余円)と比較して3,420万余円(12.7%)減少している。これは主に、未払金が3,468万余円減少したことによるものである。

資本総額は、347億8,749万余円であり、前年度(347億8,930万余円)と比較して180万余円(0.0%)減少している。これは、資本金が一般会計出資金により577万余円増加したものの、剰余金が国庫補助金充当資産の除却等により758万余円減少したことによるものである。

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表10のとおりである。

(表10) 財務比率表

(単位：%)

年度 項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	算式
流動比率	705.3	734.1	1,103.1	1,544.1	1,993.2	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	98.9	98.8	99.1	99.2	99.3	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	94.1	92.5	90.6	88.8	87.2	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

2 長期資本 = 資本金 + 剰余金

3 建設改良事業について

平成22年度の建設改良事業の執行状況は、表11のとおりである。

予算額3億6,400万円に対し、執行額1億828万余円であり、執行率29.7%となっている。

執行事業の主な内容は、道路管理者等の実施する工事に伴い実施した配水管布設替工事(2件、4,889万余円)である。

浄水施設費の執行率が低い理由は、予定していた三園浄水場内の加圧脱水機等補修工事の計画を見直したことなどによるものである。

また、配水施設費の執行率が低い理由は、予定していた足立区梅田地区の配水管移設工事が当初の計画より縮小されたことなどによるものである。

(表11) 建設改良費執行状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)×100	不用額 (A)-(B)
浄水施設費	85,000	34,731	40.9	50,268
配水施設費	252,000	48,895	19.4	203,104
営業設備費	27,000	24,658	91.3	2,341
計	364,000	108,284	29.7	255,715

(別表1) 比較損益計算書

(単位：円、%)

科 目	平成 22 年度	平成 21 年度	増 (△) 減	
	金額 (A)	金額 (B)	金額 (C = A - B)	率 (C/B) × 100
営業収益	858,834,876	905,474,607	△ 46,639,731	△ 5.2
給水収益	808,886,679	841,605,406	△ 32,718,727	△ 3.9
受託事業収益	2,469,881	4,098,414	△ 1,628,533	△ 39.7
その他営業収益	47,478,316	59,770,787	△ 12,292,471	△ 20.6
営業費用	1,280,565,521	1,374,269,740	△ 93,704,219	△ 6.8
浄水及び配水費	436,752,322	452,145,992	△ 15,393,670	△ 3.4
受託事業費	2,469,881	4,098,414	△ 1,628,533	△ 39.7
業務費	59,495,191	59,381,041	114,150	0.2
総係費	67,990,168	133,972,466	△ 65,982,298	△ 49.3
減価償却費	630,917,103	640,727,692	△ 9,810,589	△ 1.5
資産減耗費	82,940,856	83,944,135	△ 1,003,279	△ 1.2
営業損失	421,730,645	468,795,133	△ 47,064,488	△ 10.0
営業外収益	428,430,823	477,271,762	△ 48,840,939	△ 10.2
受取利息	1,793,743	2,922,797	△ 1,129,054	△ 38.6
土地物件収益	215,215,245	254,164,772	△ 38,949,527	△ 15.3
一般会計補助金	210,824,096	218,427,016	△ 7,602,920	△ 3.5
雑収	597,739	1,757,177	△ 1,159,438	△ 66.0
営業外費用	6,700,178	8,476,629	△ 1,776,451	△ 21.0
雑支出	6,700,178	8,476,629	△ 1,776,451	△ 21.0
経常利益	0	0	0	-
当年度純利益	0	0	0	-

(別表2) 比較貸借対照表

(単位：円、%)

科 目	平成 22 年度		平成 21 年度		増(△)減	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	金額 (C = A - B)	率(C/B) × 100
固定資産	30,338,267,826	86.6	30,901,622,716	88.1	△ 563,354,890	△ 1.8
有形固定資産	30,024,518,395	85.8	30,574,526,484	87.2	△ 550,008,089	△ 1.8
土地	1,045,841,138	3.0	1,045,841,138	3.0	0	0
建物	460,966,004	1.3	481,705,614	1.4	△ 20,739,610	△ 4.3
構築物	27,275,259,627	77.9	27,701,800,651	79.0	△ 426,541,024	△ 1.5
機械及び装置	1,215,858,701	3.5	1,343,355,394	3.8	△ 127,496,693	△ 9.5
車両運搬具	499,008	0.0	571,855	0.0	△ 72,847	△ 12.7
器具備品	1,398,678	0.0	1,251,832	0.0	146,846	11.7
建設仮勘定	24,695,239	0.1	0	0.0	24,695,239	-
無形固定資産	313,749,431	0.8	327,096,232	0.9	△ 13,346,801	△ 4.1
施設利用権	47,920,552	0.1	47,956,552	0.1	△ 36,000	△ 0.1
ダム利用権	260,431,957	0.7	273,697,928	0.8	△ 13,265,971	△ 4.8
借地権	5,240,016	0.0	5,240,016	0.0	0	0
その他 無形固定資産	156,906	0.0	201,736	0.0	△ 44,830	△ 22.2
流動資産	4,684,244,191	13.4	4,156,900,235	11.9	527,343,956	12.7
現金及び預金	4,483,103,464	12.8	3,878,629,609	11.1	604,473,855	15.6
預金	4,483,103,464	12.8	3,878,629,609	11.1	604,473,855	15.6
未収金	201,040,727	0.6	278,265,340	0.8	△ 77,224,613	△ 27.8
営業未収金	118,470,312	0.3	117,447,898	0.3	1,022,414	0.9
営業外未収金	58,006,629	0.2	44,535,800	0.1	13,470,829	30.2
その他未収金	24,563,786	0.1	116,281,642	0.3	△ 91,717,856	△ 78.9
その他流動資産	100,000	0.0	5,286	0.0	94,714	-
前払金	100,000	0.0	5,286	0.0	94,714	-
資産合計	35,022,512,017	100	35,058,522,951	100	△ 36,010,934	△ 0.1

(注) 有形固定資産の減価償却累計額は、平成 22 年度 21,582,316,926 円、平成 21 年度 21,012,255,639 円である。

(単位：円、%)

科 目	平成 22 年度		平成 21 年度		増 (△) 減	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	金額 (C = A - B)	率 (C/B) × 100
流動負債	235,013,337	0.7	269,217,717	0.8	△ 34,204,380	△ 12.7
未払金	233,848,573	0.7	268,535,862	0.8	△ 34,687,289	△ 12.9
営業未払金	144,661,669	0.4	257,358,631	0.7	△ 112,696,962	△ 43.8
工事未払金	8,801,257	0.0	4,490,671	0.0	4,310,586	96.0
その他未払金	80,385,647	0.2	6,686,560	0.0	73,699,087	-
未払費用	760,930	0.0	274,220	0.0	486,710	177.5
未払費用	760,930	0.0	274,220	0.0	486,710	177.5
前受金	2,354	0.0	24,950	0.0	△ 22,596	△ 90.6
営業前受金	2,354	0.0	24,950	0.0	△ 22,596	△ 90.6
その他流動負債	401,480	0.0	382,685	0.0	18,795	4.9
預り金	401,480	0.0	382,685	0.0	18,795	4.9
負債合計	235,013,337	0.7	269,217,717	0.8	△ 34,204,380	△ 12.7
資本金	22,864,568,392	65.3	22,858,790,078	65.2	5,778,314	0.0
自己資本金	22,864,568,392	65.3	22,858,790,078	65.2	5,778,314	0.0
繰入資本金	21,566,182,300	61.6	21,560,403,986	61.5	5,778,314	0.0
組入資本金	1,298,386,092	3.7	1,298,386,092	3.7	0	0
剰余金	11,922,930,288	34.0	11,930,515,156	34.0	△ 7,584,868	△ 0.1
資本剰余金	11,922,930,288	34.0	11,930,515,156	34.0	△ 7,584,868	△ 0.1
国庫補助金	8,494,477,671	24.2	8,507,250,564	24.3	△ 12,772,893	△ 0.2
受贈財産評価額	40,135,790	0.1	40,135,790	0.1	0	0
工事負担金	3,388,316,827	9.7	3,383,128,802	9.6	5,188,025	0.2
資本合計	34,787,498,680	99.3	34,789,305,234	99.2	△ 1,806,554	△ 0.0
負債資本合計	35,022,512,017	100	35,058,522,951	100	△ 36,010,934	△ 0.1